

連盟だより

ユニテ

佐賀県看護連盟

Vol. 15

平成24年12月



石田
まさひろ

看護師・保健師

看護が豊かに行われる
社会づくりのために
私は、次の政策に
全力で取り組みます!

- ▶ 安心・安全で幸せな暮らしを支える安定した社会保障制度づくり
- ▶ 社会保障分野に活力を与える人材の確保と育成
- ▶ ケアの質の向上と社会全体へのケアの普及
- ▶ 創造性や情緒を育み社会性を身につける教育制度づくり



Unité(ユニテ)……「統一性」や「まとまり」、行動の「一貫性」などを意味するフランス語。「1」や「1つ」を意味するun(アン)を語源とする。同じくフランス語のunion(ユニオン)がバラバラなものの寄せ集め的な結合を意味するのに対して、unité(ユニテ)は同質のもの、より純度の高い統一を表す。また、単一の基本単位を意味する英語のunit(ユニット)よりも抽象的、理念的な概念



ごあいさつ

佐賀県看護連盟会長 岡部 洋子

暑く長〜い夏が終わり、冬到来をひしひしとを感じる季節となりました。会員の皆様、風邪対策は大丈夫ですか？

今年は第23回参議院議員選挙の準備で多くの方々のご協力を頂きました。

参議員候補予定者「石田まさひろ」氏は佐賀県を7回訪問され18回の政策研究会で699人、23か所の施設訪問で193人と多くの方と話をさせて頂きました。

現場は看護師不足を抱え2025年問題を目前にして看護界の課題は深刻です。

「石田まさひろ」氏の政策課題である『責任に見合った給与体系の見直し、看護職の確保対策・看護師のワークライフバランスやその人に合った仕事ができる』など、働きつづける環境づくりのために「石田まさひろ」さんを国会に送りましょう。

選挙については、佐賀県も獲得目標数を掲げ目標に向かって県本部、支部、施設が一丸となって頑張っています。

是非、皆様お一人おひとりが「石田まさひろさんを熱伝導で広める」などお力を貸してください。



あなたなら、どうします？

佐賀県看護協会会長 三根 哲子



皆様 いかがお過ごしでしょうか。

看護協会では、公益法人への移行準備を24年度の優先課題として取り組んできました。

本年3月の審査会で「継続審議」という回答を得て、何とか24年度中に承認が得られるよう「もうすこし・もうすこし」と頑張っていました。未だ承認が得られない状況です。

現在、日本看護協会や県内外の専門家にご指導・ご支援をいただき、少し気持ちが楽になりましたが、反省することばかりです。

私が最も反省すべきは、担当者の頑張る姿に、「大変でしょうけど…頑張って」の声かけはしたものの、困っていることを具体的に把握しなかったこと。担当者は、困っていることを具体的に明らかにせず、自分で何とかしようと頑張りすぎたことでしょう。

すなわち、みんなで知恵と力を出し合うことを積極的にしなかったことです。

今は、「今年中の承認」を目標に、支援してくださる皆さんと知恵と力を出し合って、明るい気持ちで新しい年を迎えたいと頑張っているところです。





「ユニテ第15号」に寄せて

日本看護連盟会長 清水 嘉与子

山中教授のノーベル賞受賞のニュースに日本中が沸いています。研究室内のチームワーク・フットワークの良さは素晴らしいですね。それに引き換えもたもたしていてもどかしく思えるのが国会の動きです。自民党・民主党ともに党首選を終え、新しいメンバーによる執行部がスタートを切りましたが、大方の予想通り再選された野田総理は10名の閣僚の入れ替えをすまして走り出しましたが、新大臣お目見えの臨時国会がいつ開かれるのかまだ決まっていません。臨時国会でやるべき緊急課題を処理したら次は野田総理の「近いうち国民の信を問う」時がやってまいりましょう。日本看護連盟としては岡山3区で頑張っている阿部俊子議員の動向に気を配りつつ、その結果が来夏の石田昌宏さんの選挙環境を良くすることにつながってくれることを願っています。限られた時間になりました。佐賀県看護連盟会員の皆さんの熱い思いが県内隅々にまで浸透していくことを期待しております。



ごあいさつ

衆議院議員 あべ 俊子

佐賀県看護連盟の皆様、こんにちは。いつも温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、会期を延長し229日間に及んだ第180回通常国会は、税と社会保障の一体改革をはじめとした日本の将来に大きな影響を与える政策の議論が重ねられ、幕を閉じました。私自身は、看護職の労働環境の改善といった日々の看護に直結する課題をはじめ、医療における患者の意思決定のための法整備（尊厳死法案）や女性が仕事と家庭を両立するための施策（学童保育の法的整備）のような、看護職を取り巻く諸課題に対しても、今国会ではこれまで以上に精力的に邁進してまいりました。すぐに実を結ぶことはなかなか難しいのですが、「千里の道も一歩から」の言葉にもあるように、一つ一つの課題に対して引き続き丁寧に取り組んでまいり所存です。

そして、いよいよ来年は参議院議員選挙の年となります。国政に皆さんの願いを託すことができる看護の仲間をもう一人増やせるよう、候補者である石田まさひろさんへの温かいお力添えを心よりお願い申し上げます。



ごあいさつ

参議院議員 たかがい 恵美子

冬の訪れを感じる季節となりました。佐賀県看護連盟の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、現在の国政運営につきましては、国民の皆様より厳しい視線が向けられております。私は国会の一員として、国政の健全化こそが、待ったなしの国民的課題だと痛感しています。

先の国会におきまして社会保障・税一体改革関連法案が成立いたしました。人口減少の加速するわが国は、大胆に社会保障制度改革を実行し、次代に相応しい強靱な安全・安心・安定の社会への移行を、急がなければなりません。

看護は「ひとの生きる力を守り支える技」であり、政治は「社会の生きる力を創り出す仕組み」。その政治力が弱っているいま、社会保障の実現者である看護職こそが、国政の健全化を牽引する確かな原動力です。一人ひとりのパワーを蓄積し、来夏にはその成果を花開かせる、その日に向かって心一つに、仲間づくりを進めて参りましょう。

ごあいさつ

石田 昌宏

佐賀県看護連盟の皆様、まもなく本格的な冬を迎えますが、お元気にお過ごしでしょうか。

日本看護連盟の総会で来年度の組織代表に決定していただいて以来、私は毎日、全国各地を訪問しています。佐賀県でも、大きな中核病院、地域の医療を支えている病院、未来の看護を育てている学校、障がい児や高齢者の命と生活を守っている施設などにお伺いしました。大変多くの貴重なご意見をいただき、やはり政治によって看護の環境を整えていかねば現場の努力が報われないとの想いを強くしています。

看護は患者さんや利用者と共にあります。大変さの中にも、ケアをした実感がありそれが心の琴線に触れた時、感動をも生むのが看護の仕事です。こういった感覚が現場に広がり、「今日もいい看護ができて良かった!」と、すべての看護職たちが毎日実感しながら、仕事を終えて家路につく姿をめざして行きたいと思えます。

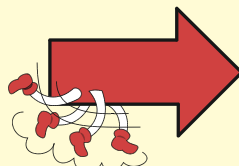
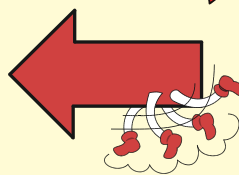
これからも訪問や集会などで、看護連盟の皆様にお世話になります。皆様方の声や姿からエネルギーをいただきながら、今後も精一杯努力を続けます。お会いできることを楽しみにしています。

施設訪問

9月9日(日)

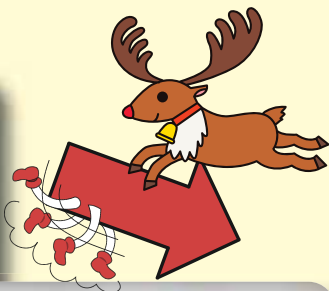


9月17日(祝・月)



施設訪問

9月18日(火)



絞島病院



ひらまつ病院



若楠療育園



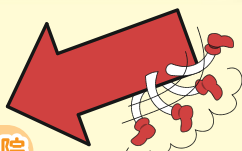
佐賀記念病院



いぬお病院
院長 犬尾貞文先生と



いぬお病院



橋本病院



和田記念病院



1支部研修会
愛夢かんざき↑→



看護センター 2・4支部合同研修会



支部活動報告

1 支部活動報告

1 支部長 陣内 登貴子



9月18日にステップ集会で、石田まさひろ前幹事長が神埼・鳥栖地区においでになり、施設訪問とミニ研修会を開催しました。どのくらいの人数が集まってくれるか心配でしたが、それぞれの施設代表者、支部役員の尽力でたくさんの人に会っていただきとてもうれしく思いました。

若楠療育園では、園長先生をはじめ職員の方々と障害児施設の抱える現状についてご意見を聞かれ、また施設内も見学しました。その後いぬお病院、和田記念病院、橋本病院を訪問し、最後に愛夢かんざきで神埼病院の職員の方、地元の連盟OBの方に集ま

っていたいただき「看護の未来を創る」について先生の熱い思いを語っていただきました。延べ126名の方にご参加いただき、この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

第23回 参議院選挙にむけて

2 支部長 藤山 美子



嘉瀬川河川敷にバルーンが上がる時期になりました。今年は、来年の参議院選挙にむけて、研修会開催と「石田まさひろ政策研究会名簿」の配布と回収等の活動をしております。「石田まさひろ」候補予定者は、精力的に全国を回られ、直接、看護職と会って現場の情報を収集し、来たるべき時にむけて準備をしておられます。佐賀にも7回ほど見えておりますが、会われましたか？ 9月17、18日は台風の中、来佐され施設訪問をされました。9月18日は、2.4支部合同研修会を開催し、石田さんの講演と佐賀大学糖尿病看護認定看護師の藤井純子さんによるフットケア研修を行いました。46人の参加でした。政治と看護の関わりを少しでも学べる機会になればと思っています。また、

「政策研究会名簿」はお手元に届きましたか？ 御自身の他に是非2人以上の方々に広めていただきたいと思います。前回 たかがい参議院議員を送りだした以上のパワー〈獲得票〉が必要と言われております。「ベットサイドから政治を変える」事ができるように、来年にむけて、みなさんのパワーを集めていきたいと思っておりますので、声かけ、名簿記載、投票と結びつくようにご協力お願いいたします。

10月6日研修会を終えて

3 支部長 福田 重子



早いもので来年の参議院選挙まで1年を切りました。3月からとりかかった石田まさひろ政策研究会入会を6月と8月末に本部の方へ提出いたしました。連盟会員112名、紹介者が285名です。ほぼ連盟会員の70%の方に協力いただきました。ありがとうございました。その後今回は看護職全体とOBをお願いするための入会申し込みがきております。看護協会員のかたにもお願いすることになりました。来年の選挙ではぜひ石田氏にと目標を定めています。今後ともご協力よろしく申し上げます。

唐津支部と合同で行った支部研修会が、参加者109名と予想以上の参加者で盛会に終えることができました。ところがフリーズしないように毎日を送りたいものです。

これから寒さに向かいますが、熱伝導をつたえていなくてはと思っています。来年1月27日は石田氏が3支部にお見えになります。またその節はよろしく申し上げます。

4 支部活動報告

4 支部長 小 澤 知江子



会員の皆様こんにちは。早いもので、もう12月になろうとしております。

忙しい中、連盟へのご協力ありがとうございます。今年度は、4月と9月に役員会、9月18日(火)に2・4支部合同の研修会を行いました。

研修会では始めに、石田まさひろ氏を迎え、来賓として4人の議員さん方がお見えになりました。さらに【看護師が行う予防的フットケア】というテーマで佐賀大学医学部付属病院の糖尿病看護認定看護師・藤井純子氏による講演がありました。藤井看護師の講演は具体的でとてもわかりやすく、もっと聴きたいと思いました。

石田まさひろさんについては、4支部として496名に対して660票が目標です。会員の皆さんが全員で協力していただければ、一人が2票ずつと広めれば出来ることですが、前は500票位しか取れなかったようで、がんばったのにと悲しい思いでした。

今回、会員の皆様をとおして政策研究会入会をお願いしておりますが、まず、石田まさひろ氏を知ってもらえるよう支部役員の皆さんと共にがんばりたいと思っています。来年度は会員増加に努力したいと思っています。会員の皆さん、ともにがんばりましょう。よろしくお祈りします。

5 支部活動報告

5 支部長 古 川 津代子



支部活動の大きなイベントはステップ集会の研修会でした。6月28日に武雄杵島医師会館で石田まさひろ氏をお迎えして生の声、意気込み、お人柄に接していただきました。

中野校長先生のご講演を拝聴して、涙がこぼれた後に石田まさひろさんを紹介しましたので、盛り上がり方が足りなかったかなと反省しています。そのあと施設訪問はユニテ14号で報告したように4施設を廻り、副島整形外科病院でミニ研修会を実施しました。

石田さんは、電車の時間ぎりぎりまで、診療報酬の改定など具体的に話してくださいました。石田さんの政策研究会入会者のお願いは、支部の幹事さんと白石、大町地区8か所、鹿島地区9か所、武雄地区12か所、嬉野地区4か所の病院を訪問しました。

政策研究会の入会者名簿が届けられています。今後も入会者の方を一人でも増やせるよう頑張ります。

唐津支部活動報告

唐津支部長 前 田 眞理子



平成23年4月唐津支部が発足し、一年半が過ぎました。会員数は71名と少ないのですが、各病院幹事(看護部長)のご支援のもと、会員数や研修会の参加人数も徐々に増えてきています。

看護・介護職は勉強好きで、真面目な集団ですが、実は、自分達に関連する政策決定がどのようにされているのかあまり興味を示されません。毎日患者と接する中で、「もっと患者と関わる時間がほしい」「何々してあげたい」等の言葉を聞きますが、患者とのかかわりひとつにしても政策で決定されています。看護行為を規制する法律も、病院内の看護職の数も政策で決められています。だからこそ政策が生みだされる過程に「看護職の代表者を国政に送ることが大切」との思いで活動しています。看護職の代表は、誰

もない私たちが応援しないといけない理由を理解していただき、政治政策研究会名簿や研修会参加をよろしくお祈りします。皆様の熱伝導で投票行動を広げ、公益法人である看護協会の目標を具体化し現場の声を診療報酬へまたは、政治政策にあげ議論できるようにしていくためにも私たちの代表者を国政に送りましょう。

石田まさひろ候補者の今年度最後の研修会を下記のように企画しています。多数の参加をお願いします。

3 支部(伊万里)・唐津支部合同研修会

日時：平成25年1月27日(日)10時～

場所：虹の松原ホテル1階

石田まさひろ氏来唐「看護の力が日本を元気にする」仮称

研 修 会 報 告

佐賀県看護連盟 3支部・唐津支部合同研修会

済生会唐津病院 山口 祐子



平成24年10月6日(土) 伊万里市民センターで開催 参加人数は、109名
唐津の前田支部長の挨拶にはじまり、福岡たかまる先生より祝辞を頂き、看護連盟岡部会長より挨拶、石田まさひろ氏の政策DVDの鑑賞と続けました。現場の目線で政策を考える石田氏の姿勢に感銘を受けました。

講演は、スクールカウンセラー吉村春生先生からの「心が風邪をひくとき」講演がはじまりました。

私からの先生の印象は、佐賀のきみまるさん。内容は一人でも多くの人に聞いて頂きたいと心から思う内容でした。

心のエネルギーを飛行機にたとえると、乳幼児期にためる「3つ子の魂100まで」そして思春期から飛びあがる。親の期待を背負い、勉学・運動・就職、今の子供たちはガス欠をしている→だから飛べない。非行・引きこもり登校拒否・うつへ。3歳までの間に、夫婦喧嘩や愛情が足りないと心のエネルギーが満タンにならないまま、飛び立って、ガタガタになってしまう。

心のエネルギーは注入できる。それは、①食 ②イメージで遊ぶこと(テレビを見る、本を読む、ゲームをする)それは、私たち大人にもあてはまる。心がフリーズしないよう生活を送っていく必要がある。講演後先生の追っかけをしようかと思う位引き込まれました。

最後の福田支部長の挨拶の前に来年の佐賀県から参議院選挙に出馬予定の山下雄平氏が挨拶をされ、吉村先生から看護師さんの笑顔が絶えない社会を作っていってほしいと要望があり、会場がひとつになりました。



丸大食品

確かなものを、贈りたい。

Excellent Gift

ご贈答には、丸大食品のハム・ソーセージの詰合せをどうぞ。

お問い合わせ先 丸大食品株式会社 九州特販営業課
福岡県糟屋郡糟屋町大字内橋673-8
TEL 092-621-2121
FAX 092-621-2122

第17回日本看護サミット青森'12開催

佐賀県看護連盟 幹事長 倉守みどり



10月18日・19日の2日間にわたり、『第17回 看護サミット青森』が開催され、2000人の参加者がありました。

メインテーマは『生命（いのち）をつなぐ看護』。

1日目は、開会式があり参列者の南野知恵子先生も紹介されました。

はじめに、坂本すが日本看護協会会長が『生命（いのち）をつなぐ看護～国民のニーズに応えるための主体的な役割と主な取組～』と題して基調講演をがありました。坂本会長は、2025年問題、少子高齢多死社会において、医療・生活の両面を支えるキーパーソンとしての看護職の担う役割・期待と課題について話され、人材確保をいかにするか、なかでも、基本戦略として6つの実現手法の中の1つ『政策形成』で「法律的、政治的に形を成さないと私たちの努力は自分の中で努力していくだけでは足りない。看護連盟との協力が大事である。」と話され、協会と連盟は一体であると思いました。

午後からは2つの会場に分かれ、4分科会が開催されました。

分科会Ⅱ看護職が働き続けられる環境づくり～「看護師等の『雇用の質』向上」と「WLB（ワーク・ライフ・バランス）推進」への取組～で、あべ俊子先生がシンポジストとして、「新人看護師の離職問題は改善傾向にある。中堅や子育て世代などを中心とした離職の問題への法的整備はこれからである。働き続けられない理由には、交代制勤務、長時間勤務、夜勤、給料など処遇への不満などあるが、これらを打開するには制度を変えなければならない。「制度」が変われば「看護」も変わる。すべての看護職が働き続けられる環境整備を目指して頑張りましょう。」と、力強い言葉でした。

分科会Ⅳ地域でつなぐ看護～在宅医療の推進を担う看護職の役割～に、たかがい恵美子参議院議員もシンポジストとして来られる予定でしたが、国会の仕事で都合がつかず、欠席でした。あの活気ある声が聴かれず残念でした。2日目は、シンポジウム「生命（いのち）をつなぐ看護～看護の将来展望と提言～」が岩澤和子厚労省看護課長の司会で真田弘美東京大学教授は『看護師の役割拡大に向けての実証方法～褥瘡ケアからみえてきた医行為の必要性を明文化する～』、山崎摩耶衆議院議員は『看護ネットワークが社会保障を救う：看護の存在意義と価値』、南砂読売新聞医療情報部長は『看護職に期待する』と題して、それぞれの立場から話されました。

最後に、『日本看護サミット青森宣言』があり、次年度は、『愛知県』で開催される予定です。

皆様も、看護協会と看護連盟は、役割を分担しながら協同して活動し問題解決にあたっていることをサミットに参加し、実感してください。

心地よい眠りで、あなたの元気を応援します。

東洋羽毛の羽毛ふとん

クリーニングやリフォームなど、羽毛ふとんのアフターサービスは東洋羽毛へおまかせください。



東洋羽毛九州販売(株)長崎営業所 〒856-0046 大村市木場2-200-1
フリーコール：0120-104-203

全国ポリナビワークショップin福島に参加して

伊万里有田共立病院 小松 秀俊



今回、初めて日本看護連盟主催のポリナビワークショップin福島に参加しました。「未来に向けて始めよう、私たちから～」と題し、石田まさひろさんとともに震災を体験した青年部メンバーを交えて体験したことやそれぞれの思いなど生の声を聞くことができました。

初めて福島県を訪れて震災から復興していく町並みに力強さを感じ、看護連盟が一丸となって震災の影響に、今尚苦しんでいる人に寄り添う、温かい看護を提供しようと日々活動していることに胸が熱くなりました。

石田まさひろさんが震災の翌日には車に食糧、備品を詰込んで東京から被災地を訪れ、活動されたことに驚き、その行動力と徹底した現場主義というのが、今の看護の世界にも必要だと感じました。誰もがやろうとして出来ないことを確実に実行するのは難しいと思います。けれど必要な人に必要な手を差し伸べてくれる人は、福島であっても政治の場、そして看護の場であってもなくてはならないと感じました。今回多くの事を学び、周りの人に伝えていけたらと思いました。

研修案内

《ステップ》

3 支部・唐津
支部合同研修会

日時：平成25年
1月27日(日)
10時～

場所：
虹の松原ホテル 1階
講師：
石田まさひろ 氏

「看護の力が日本
を元気にする」

《ステップ》

佐賀県看護協会・
連盟合同研修会

日時：平成25年
1月28日(月)
13:30～16:00

場所：看護センター
講師：
日本看護連盟副会長
大島 敏子 様

「看護の自立、
そして改革」

《ジャンプ》

佐賀県
総決起大会

日時：平成25年
6月9日(日)
13:30～14:30

場所：
佐賀市文化会館
イベントホール

九州ブロックポリナビワークショップin福岡

日 時：平成25年2月2日(土) 13:00～17:00

場 所：ナースプラザ福岡 研修ホール

テーマ：九州一心 ～拡がる・繋がる・九州・沖縄の力～

今年もやります! (台風の為 9月17日から変更)
ポリナビワークショップ・ミニバレーボール大会!!

ポリナビワークショップ

佐賀ん病院

NO 1 決定戦



日時: 25年1月27日(日曜日)

13時00分 受付開始

13時30分 試合開始

会場: 佐賀勤労者体育センター
駐車場有

参加費: 100円 (保険料)

持参品: 体育館シューズ

参加資格: 看護職者及び看護学生

申し込み方法: 指定の用紙へ記入後

ファックスへ FAX:0952-68-5438

主催: 佐賀県看護連盟 青年部

多数のご参加をお待ちいたしております。

青年部実行委員会

伊万里有田共立病院

看護部理念

私たちは、熱い心 温かい対応 安心できる技術で地域の皆様に信頼される看護を提供します。

クラーク室

カフェステーション

外来フロア

化療室

手術室

一般急性期型 病床数206床
二類感染症 4床
災害拠点病院
レスパイト入院受入れ
肝炎コーディネーター
糖尿病コーディネーター
臓器移植コーディネーター

会員募集



看護連盟は看護職の代表を国政の場に送り、看護と国民の健康・福祉のため強力な活動を推進しています。

年会費 8500円 (本部会費5000円・県会費3500円)

特別会員：看護協会会員の経歴を有し、未就業の方も入会できます。(会費 8500円)

賛助会員：当連盟の主旨に賛同いただける方であれば、一般市民、介護職の方など、どなたでも入会できます。

看護連盟を支えるのはあなたです！

編集後記

第23回参議院選挙まであと9ヶ月、今しが頑張り時はない!!

県内全部の看護職の皆様に、ひとりでも多くの賛同者の皆様に、参議院選挙候補予定者石田まさひろ氏を、知って頂きたい!! 会員の皆様ともに頑張りましょう! 今が頑張りどきです!

広報委員 篠原 まゆみ 名嶋 すみ江 江頭 恵美子 古川 津代子 中村 恵利子
無津呂 さよ

